

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	エミット上本町			
○保護者評価実施期間	令和7年3月11日		～	令和7年3月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	5
○従業者評価実施期間	令和7年3月11日		～	令和7年3月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様のことを理解し必要に応じた支援を行う	なかなかことばが出ないお子様にもABAをベースにした支援を行うことで発語につながっている。	これからもお子様の日々の変化に応じた支援をしていく。
2	お子様が安心感をもって通所を楽しみにしている	自発性を重んじお子様ひとりひとりに応じた支援を行うことで「楽しい」と思っていただけだと感じる。	これからもお子様の成長発達に応じた関わりを継続していきたい。
3	保護者様への定期的な面談や助言	保護者様とのコミュニケーションが重要と考え、送迎サービスを行っておらず、保護者様に送迎をお願いしている。そのため来所の際にはご自宅での様子を伺ったり、またお迎えの時には事業所での様子（その日の変化など）をお伝えしている。	これからもお子様の成長発達を保護者様と共に喜べるようコミュニケーションをとっていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害の発生に備えた対応	随時新規ご利用者を受け入れている状態が続き、来所されているお子様の状態をみながら避難訓練を検討しているため、十分な訓練が行えていない。	お子様の様子をみながら小グループでの訓練から始めるなどお子様の負担になら形で訓練を行っていく。また災害時の引き渡し方や連絡方法などを定期的にお伝えしていく。
2	保護者会の開催について	令和6年度の開催を予定していたが日程や会場の調整ができず、開催できていない。	開催の方法を工夫しながら令和7年度は行いたい。
3	保育所などとの交流について	近隣の公園で遊ぶ時には自然と地域のお子様との交流がある。しかし企画した交流はお子様の負担になることがあり行っていない。	お子様の負担にならない形での交流の仕方があるか検討していきたい。